

称名寺本尊開眼七五〇年記念

特別展

# 至高の宝蔵

—金沢北条氏の遺した国宝—

令和8年

3月20日(金)～5月17日(日)

開館時間 9時00分～16時30分(入館は16時00分まで)

休館日 毎週月曜日(5月4日を除く)、5月7日(木)

主催 神奈川県立金沢文庫

協力 横浜市金沢区役所

交通 京急線金沢文庫駅下車 東口より徒歩12分  
(快特で品川より33分、横浜より16分)

シーサイドライン 海の公園南口駅下車 徒歩10分  
(JR根岸線 新杉田駅接続)

観覧料 一般400円(300円)、20歳未満・学生250円(200円)、  
65歳以上200円(100円)、高校生100円、中学生以下・障がい者は無料

※( )内は20名以上の団体料金

## 神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142

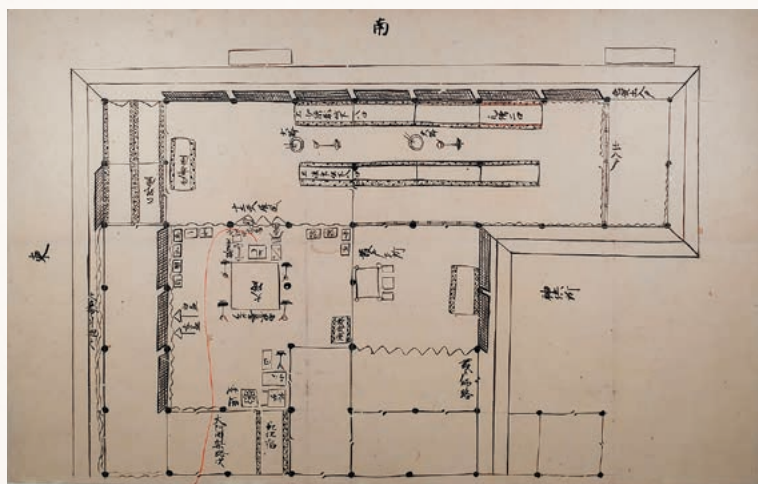
TEL 045-701-9069/FAX 045-788-1060

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>





# 七五〇年の時を越えた 珠玉の名宝、大公開！



国宝 三昧耶戒道場図 鎌倉時代



重文 忍性像 (部分)  
鎌倉時代



県文 僧形八幡神像 (部分)  
鎌倉時代

## 主要展示資料

重文 伝北条実泰像、国宝附 顕弁像、国宝 金沢貞顕書状、重文 九重守 (本尊・弥勒菩薩立像像内納入品のうち)、国宝 称名寺条々規式、国宝 別尊雜記、十三仏図ほか (いずれも称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫保管)

※文化財保護のため会期中一部展示替えがある場合がございます。詳細はHPでご確認ください。

## 講座のご案内

### ①月例講座「鎌倉極楽寺の歴史と教学」

日時：4月12日(日) 午後1時30分～3時 講師：櫻井唯 (当文庫学芸員)

### ②月例講座「『至高の宝蔵』の誕生 一称名寺の草創期を考える」

日時：5月17日(日) 午後1時30分～3時 講師：道津綾乃 (当文庫学芸課長)

### ③解説講座「金沢文庫の仏像を読み解く3 一十大弟子立像(上)」

日時：3月28日(土) 午後1時30分～3時 講師：瀬谷貴之 (当文庫主任学芸員)

### ④解説講座「金沢文庫の仏像を読み解く4 一十大弟子立像(下)」

日時：4月4日(土) 午後1時30分～3時 講師：瀬谷貴之 (当文庫主任学芸員)

### ⑤解説講座「至高の宝蔵を深掘りする1 一称名寺聖教から見る中世の供養と禅宗」

日時：5月9日(土) 午後1時30分～3時 講師：貫井裕恵・山口啄実 (いずれも当文庫学芸員)

### ⑥解説講座「至高の宝蔵を深掘りする2 一描かれたほとけと寺」

日時：5月16日(土) 午後1時30分～3時 講師：三輪眞嗣・佐藤優 (いずれも当文庫学芸員)

### ⑦金沢区民のための歴史講座「ダルマさんは日本に來たのか？ 一中世禅宗の実像を探る」

日時：3月29日(日) 午後1時30分～3時 講師：山口啄実 (当文庫学芸員)

## お申込方法

金沢文庫HP「申込フォーム」、または往復はがき (おひとり様1講座1通まで) に、講座名 (開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①3月26日(木)、②⑥4月30日(木)、③⑦3月12日(木)、④3月19日(木)、⑤4月23日(木) 必着でお申し込みください。いずれも定員は70名 (超過の場合は抽選)、会場は当館地下大会議室です。受講には当日の観覧券が必要です (受講料は無料)。

## ★GW特別イベント

### ○ワークショップ「仏さまの絵をなぞってみよう」開催！

日時：5月5日(火)～6日(水) 午前10時30分～12時、午後1時30分～3時

※当日受付。詳細はHPをご確認ください。

### ○4月29日(水)～5月6日(水) 限定 国宝「四将像」一挙公開！

武蔵国久良岐郡六浦莊金沢 (現在の横浜市金沢区金沢町) に所在する金沢山称名寺は、一二六一年に開基である北条実時によって「大藏經」が施入され、一二六七年に開山として審海上人が入山し、一二七六年に本尊・弥勒菩薩立像が開眼して、三宝 (仏教の信仰の対象である仏宝、法宝、僧宝) を具える名利として開かれました。本展示では、日本中世の東国を代表する称名寺の文物を守り伝えるために開館した神奈川県立金沢文庫が精選した、魅力あふれる至高の品々をご紹介します。



来迎弥勒菩薩像 (部分)

室町時代



国宝 諸尊図像集より  
金翅鳥王 (部分)

鎌倉時代



国宝 諸尊図像集より  
馬頭観音 (部分)

鎌倉時代

(背景画像：国宝 真字正法眼蔵 鎌倉時代)